

先進的ながん病院 誕生へ

放射線治療設備は国内有数

先進的ながん治療拠点
が誕生へ——。大阪府議
会公明党(八重樫善幸幹
事長)は10日、大阪市中
央区大手前に建設中で、
3月25日に開院予定の地
方独立行政法人大阪府立
病院機構「大阪国際がん

大阪府

センター」を視察した。
同センターは日本トップ
級の放射線治療設備を備
え、がん患者の就労支援
やピアランス(外見)
の悩み解決にも対応して
いくとあって、関係者が
ら注目を集めている。



府議会公明党が推進

同センターは、現在、大阪市
東成区にある大阪府立成人病
センターの老朽化に伴い、府
庁舎の隣接地に移転建て替え
工事が進められてきたもの。一
行は、府の担当職員案内で、
地上13階・地下2階建てのセ
ンター内を移動し、中央手術
室、ICU(集中治療室)、病
棟、診療フロアなどを見て回っ
た。

地下1階の放射線腫瘍科に設
置された最先端放射線治療装置
「リニアック」(計3台)の視
察では、放射線技師から、腫瘍
部分にピンポイントで放射線を
当てられることで、正常組織へ
のダメージを低減する効果もあ
るなどの説明を受け、熱心に質
疑応答を行った。

リニアックを一つの病院内に
3台置いているのは国内では珍
しいという。1人当たりの平均
的な放射線治療時間は10〜15
分。放射線診療時間帯は夜7時
半までとし、患者が仕事帰りに
寄って治療を受けられるよう配
慮する。将来的には出勤前に受
ける「早朝治療」の実施も視野
に。働きながら外来でもがん治
療を受けられる体制づくりを力
を入れていくのが、センターの

患者の社会復帰を支援 外見上の悩み、就労相談も

大方針だ。
また、がん患者が社会復帰の
際に直面する「抗がん剤の影響
による脱毛」など、ピアラン
ス上の悩みに対しては、同セン
ターの1階にヘアサロン「こも
れび」を開設。毛髪関連会社の
医療事業推進部のスタッフらが
髪の毛のケアやスキンケア、患
者に優しい肌着などの相談に応
じる一方、医師や看護師へのア
ピランス支援に関する研修も
行う。

さらにハローワーク、大阪産
業保険総合支援センターの協力
を得て、がん患者の就労支援の
ための相談窓口も開設。国際連
携の観点からは、タイなど4カ
国4施設の医療機関と連携して
人材育成、共同研究も進めてい
く。来年3月には隣接地に治癒
効果が高い重粒子線治療施設を
オープン。笑いとがん治療の実
証実験も始める。

これまで府立成人病センター
の移転建て替えに伴い、最先端
治療の導入や患者のアピラン
ス支援、就労・社会復帰支援な
ど、総合的ながん対策の充実を
推進してきた府議会公明党。視
察後、八重樫幹事長は「今回の
新施設の誕生は手術や放射線治
療を待っている多くの患者に朗
報だ。がんになっても働ける支
援体制づくりも期待している」と
語っていた。

最先端の放射線治療装置リニアックを